

日本海側港湾のトップランナーを目指して

～北東アジアのゲートウェイ 境港～

■問い合わせ先■
管理課 港湾空港対策室 ☎ 47-1027

大型クルーズ船が初寄港
6月にイタリア船籍の大型客船「コスタ・ヴィクトリア」が境港に初寄港しました。今年はこの他にも多数のクルーズ船が境港への寄港を予定しており、最終的には、12回以上の寄港が見込まれています。境港では、クルーズ船の安定寄港地化に向けた取り組みを進めていきます。

大型クルーズ船が初寄港



コンテナ貨物過去最高更新
本年2月に発表された平成23年速報値において、境港はコンテナ貨物の取扱個数が18436TEUと過去最高を更新しました。また、全体貨物取扱量が386万1139トンとなり、対前年比5%増を記録しました。今後も、境港の利活用を更なる拡大に向けたポートセールスを積極的に進めていきます。

コンテナ貨物過去最高更新

日本海側拠点港「境港」
昨年11月、境港は国土交通省より国際海上コンテナ、外航クルーズ(背後観光地)、原木の3つの機能で「日本海側拠点港」に選定されました。これは、対岸諸国の発展を取り込み、わが国の経済成長と地域の活性化に資することを目的とするもので、貿易・観光における日本海側の中核港湾となることが期待されています。

境港では、平成24年度から直轄事業による「中野地区国際物流ターミナル整備事業」が事業化されるなど、物流・観光における拠点としての役割を果たすための港湾機能の強化が進められています。

日本海側拠点港「境港」



◎ 2012 境港へのクルーズ船寄港日程 (9月30日以降は予定)

寄港日	寄港船舶				
	船名	船社	船籍	総トン数	乗客定員
5月24日	クラブ・ハーモニー	ハーモニークルーズ社	韓国	25,558 t	1,000人
5月27日	オリオンII	オリオン・エクスペディションズ	豪	4,077 t	100人
6月7日	コスタ・ヴィクトリア	コスタクルーズ社	伊	75,166 t	1,928人
6月24日	オリオンII	オリオン・エクスペディションズ	豪	4,077 t	100人
7月10日	ばしふいっくびいなす	日本クルーズ客船	日本	26,594 t	644人
7月14日	ばしふいっくびいなす	日本クルーズ客船	日本	26,594 t	644人
7月14日	ばしふいっくびいなす	日本クルーズ客船	日本	26,594 t	644人
7月19日	クラブ・ハーモニー	ハーモニークルーズ社	韓国	25,558 t	1,000人
8月6日	クラブ・ハーモニー	ハーモニークルーズ社	韓国	25,558 t	1,000人
8月6日	クラブ・ハーモニー	ハーモニークルーズ社	韓国	25,558 t	1,000人
9月30日	ふじ丸	日本チャータークルーズ	日本	23,235 t	600人
10月16日	飛鳥II	郵船クルーズ	日本	50,142 t	872人



大型客船「コスタ・ヴィクトリア号」

◎ 境港が選定された機能

対象機能の分類	対象機能の概略	国が日本海側拠点港に選定する目的
輸送モード別	国際海上コンテナ	コンテナ船による外国とのコンテナ貨物の海上輸送 一定の取扱量が見込める港湾に対岸諸国発着貨物を集約し、対岸諸国との間のダイレクト航路の就航・拡大に必要な港湾機能の強化を図る。
	外航クルーズ(背後観光地)	背後地への観光を目的に不定期に寄港する外航クルーズ 一定以上の外航クルーズの寄港回数が見込まれる港湾に外航クルーズ船の安全・安定な就航の確保やC I Q(越境物流・人流における税関・出入国管理・検疫の総称)機能の充実など乗客の快適性確保のために港湾機能の強化を図る。
貨物別	原木	背後地での合板加工等を目的に北米材等を輸入 一定程度の輸入需要が見込める港湾において、北米材への転換など貿易構造の変化による船舶の大型化へ対応可能な岸壁などの機能確保を図る。

海の道

～世界と結ぶ定期航路～

対岸諸国との結節点
境港には、国際コンテナ船(中国航路・韓国航路、RORO船(韓国航路)、環日本海圏国際フェリー(境港～東海～ウラジオストク)が運航し、対岸諸国の港湾を経由して世界とつながっています。西日本における主要なコンテナ貨物取扱港として、また、わが国唯一の日韓口定期航路を有する港湾として、対岸諸国との結節点としての役割を果たしています。

国際定期コンテナ航路

- 中国航路 境港～上海(週2便)
- 韓国・中国航路 境港～釜山～大連(週1便)
- 韓国航路 境港～釜山(週3便)
- 環日本海圏国際フェリー航路
- 航路 境港～東海～ウラジオストク(週2便)

◎ 日本海側拠点港「境港」の計画目標

